

# ほとめき

No.35  
2024  
新春号

「ほとめき」とは筑後の方言で「おもてなし」という意味です。

書：院長 田中 真紀



「白梅」 撮影者：老健 介護支援専門員 山田 孝典

## 当院の理念

地域住民の多様なニーズに応え、安全・安心で心の通う医療を提供する

## 方針

1. 利用者の尊厳を守り、地域での包括的な医療支援やサービスに努める
2. 地域に密着した公共性の高い医療を目指す
  - ① 地域医療機関との連携を強化する
  - ② 地域に特色のある医療を担う
3. 質の高い医療を提供するために資質の向上に努める



ジェイコー 独立行政法人地域医療機能推進機構  
JCHO 久留米総合病院

## 新年のご挨拶

### 【新年のご挨拶】 「新しい息吹を」

JCHO 久留米総合病院 院長 田中真紀



新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症が5類となった今年のお正月は穏やかに過ごされたことと存じます。

コロナは、良しにつけ悪しきにつけ仕事や生活の環境に様々な変化をもたらし、2019年以前には戻れない感覚です。約3年というのは中学や高校時代の3年間と同じと思えば大変長い時間でした。

医療を取り巻く環境も変化しています。

長時間労働の改善に向けた取組みとして2019年から順次施行されてきた働き方改革関連法ですが、医師に関しては5年の猶予期間を経て本年4月1日から「医師の働き方改革」が実施されます。この法案の目的の一つは、時間外や祝祭日の長時間労働を厭わず働いていた医師に対して一労働者として健康の確保を行うことです。新制度では、所属する医療機関の特性に応じて都道府県知事より水準指定が行われ、これによって時間外・休日労働の上限時間が決められます。当院では医療の質を十分に保持しつつ労働時間を短縮するための取組みを行い、「A水準：時間外・休日労働が960時間を超えない」となります。救急医療体制など若干の問題は残りますが、今後も地域住民の皆様の健康を守っていくつもりです。

医療DX（デジタルトランスフォーメーション）化が進んでいます。医療DXとは医療現場のデジタル化によって、医療のあり方を変化（トランスフォーム）させることです。レセプト・特定健診情報・予防接種・電子カルテ・電子処方箋情報などの情報を、全国的に共有・交換できる「全国医療情報プラットフォーム」が創設される予定で準備が進められています。「電子カルテ情報の標準化（全医療機関への普及）」や「診療報酬改定DX」によって、患者さんにとっては健診結果、複数の医療機関で受けた検査や薬剤情報等が共有されるため無駄な医療費支払いがなくなるなど、結果的に良質な医療を受けることとなるでしょう。身近な変化としてマイナ保険証や電子処方箋の導入です。患者さんも医療機関も振り回されていますが、日本としては世界的にかなり後れを取っている医療DXを推進させなければなりません。ご協力お願いいたします。

新しい息吹に満ちた病院づくりをめざし、人とのつながりを大事にし、地域に貢献できる病院でありたいと思っております。皆様方が健康と幸福があふれ素晴らしい年となりますように心からお祈り申し上げます。

## 【第9回 地域連絡協議会】

2023年11月1日（水）今回で9回目を迎える地域連絡協議会は地域医療、地域包括ケアの要として、超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域住民の実情に応じた運営に努めることを目的に、定期的を開催しております。地域連携医療機関の先生方をお招きして盛大に開催しました。

院長 田中 眞紀 医師よりご挨拶と「病院の現況と将来展望」についての報告からスタートし、第1部は当院 循環器内科・乳腺外科・婦人科・整形外科のご紹介、第2部は地域の医療機関の先生方との意見交換会を行いました。当院職員を含め約120名の方々にご参加いただきました。多くの地域の医療従事者の皆様のご参加、衷心より御礼を申し上げます。





## 腎臓内科・腎臓外科 紹介

副院長・腎臓外科部長 枝國 節雄

近年、慢性腎臓病（Chronic Kidney Disease:CKD）が新たな国民病として注目されています。世界的にみて透析を必要とする末期慢性腎不全患者は増加しており、わが国も例外ではありません。日本透析医学会の調査では2021年末の統計で本邦の透析患者数は35万人に迫っています。

透析を必要としない慢性腎臓病患者も増加しており2005年には日本の成人人口の13%、1330万人を越え、2011年には透析患者は30万人を大きく越えています。慢性腎臓病（CKD）は生活習慣病（メタボリックシンドローム、高血圧、糖尿病など）と深く関わっており、動脈硬化を促進することから早期の治療が必要です。

当院の腎疾患治療は腎臓病診療に精通した腎臓内科医と外科医が連携して治療にあたることに特色があります。

当科の診療目標として以下の項目を掲げています。

- 慢性腎臓病の早い時期に適切な治療を行い、透析導入に至らせない、または導入をできるだけ遅らせる（定期的な腎臓病教室の開催 管理栄養士による栄養指導など）。
- 他科の医師と連携して腎臓病以外に合併している疾患も適切な治療を行う。
- 透析が必要になった場合、可能な限り入院期間を短くして、早期の社会復帰を目指す。
- 当院ばかりでなく他施設で透析を受けている患者さんのシャントトラブルをはじめ種々の合併症は迅速な対応で治療を行う。
- 末期腎不全に至っても透析治療を望まない方には、患者さんの意思を尊重した「保存的腎臓療法（CKM）」を提供する。

毎年、久留米市内、八女、浮羽、鳥栖など筑後地域一円からシャントトラブルをはじめ様々な合併症を持った腎臓病患者さんを紹介して頂いています。

## 【担当医】

副院長・腎臓外科部長 枝國 節雄 えだくに せつお

医学博士／日本透析医学会専門医・指導医／久留米大学  
病院指導医講習会終了／日本静脈経腸栄養学会 TNT 研修  
修了／緩和ケア研修修了／腎臓病リハビリテーション  
講習修了

専門分野：透析アクセス治療（手術・インターベンション治療）

血液浄化・アフェレシス



腎臓内科医長 玻座真 琢磨 はざまたくま

医学博士／日本内科学会認定医・指導医／日本腎臓  
学会専門医／日本透析医学会専門医

専門分野：血液浄化・アフェレシス バスキュラー  
アクセスインターベンション治療



腎臓内科医員 安徳 真利子  
あんとかまりこ

内科系顧問（非常勤） 南 浩 みなみ ひろし

医学博士／日本内科学会認定医／日本腎臓学会専門医・指導医／日本透析医学会専門医・  
指導医／日本臨床内科医会専門医



## 【コンパニオン診断に基づく乳がん薬物治療について】

2023年11月8日（水）『ほとめき WEB セミナー』を当院2階講堂からWEB配信し会場でも聴講できるハイブリッド形式で開催しました。

当院乳腺外科部長・臨床試験支援室室長 山口 美樹 医師が座長と講師の二役を担い、「コンパニオン診断に基づく乳がん薬物治療について」講話しました。また、久留米大学病院 腫瘍センター 助教（認定遺伝カウンセラー）沼田 早苗 先生から「最新の遺伝医療について」をご教示頂きました。

「最新の乳がん薬物治療の情報や最先端の遺伝子治療の情報について今後も情報共有の場を設け、久留米大学病院と当院で連携して患者さんのために出来る乳がんの最新で最善の治療への道を模索していきたいので今後もどうぞよろしくお願ひします。」と院長 田中 真紀 医師の言葉で最後を締めくくりました。

会場、Web 合わせて48名の医療従事者の方に参加して頂きました。沢山のご参加ありがとうございます。今後も『ほとめき WEB セミナー』開催予定ですので、次回決まり次第ご案内いたします。

医療従事者の皆様ぜひご参加くださいませ。



久留米大学 腫瘍センター 助教  
認定遺伝カウンセラー  
沼田早苗 先生



乳腺外科部長・臨床試験支援室室長  
山口美樹医師



毎年11月14日は「世界糖尿病デー」ということで、この日に合わせて  
当院初”糖尿病”に関わるイベント『健康フェスティバル』を11月・12月に開催しました。

## 第1弾 【～あなたの血糖値のぞいてみませんか～】



先日、地域の方に向けた健康フェスティバルを開催しました。

11月14日は世界糖尿病デーで、ナイアガラの滝や東京タワーなど有名な観光地がブルーにライトアップされます。当院でも11月14日に会場をブルーに飾り付け、血糖測定イベントを行いました。ブルーに彩られた会場に興味をもち、立ち寄られる方もいらっしゃいました。血糖測定を体験した方からは、「痛くなかった」「あっという間に結果がわかった」と喜ばれ、糖尿病のパンフレットを持ち帰るなど、イベントを通して糖尿病に興味を持って頂けたことをうれしく感じました。

糖尿病は初期に症状がないため、治療の自己中断が多い病気です。また、糖尿病に対するイメージが生活の自己管理ができていないというネガティブな印象から受診をためらう方も少なくありません。糖尿病は早期に治療を始めると、健康な人と同じような健康寿命を目指すことのできる病気です。これからも、地域の皆様に健康について考えるきっかけとなるよう取り組んでいきたいと思っております。

(日本糖尿病療養指導士 盛崎)

## 第2弾 【～血管をケアする食習慣 高血圧を予防しましょう～】

11月29日(水)「～血管をケアする食習慣 高血圧を予防しましょう～」管理栄養士が中心に行いました。

食習慣を見なおし、ご自身の身体や健康について考えてもらいたいとパンフレットやポスター、だし醤油の食品サンプルなどを展示しました。





## 【外来がん化学療法における薬剤師の介入を対象とした多施設共同調査とその評価】

副薬剤部長 桑村恒夫

JCHO は地域医療機能の向上に係る調査研究を推進しています。私は昨年度、調査研究事業に外来がん化学療法に関する薬剤師の介入を課題として応募し、採択されました。今回、実施した研究事業の概要についてご紹介いたします。

研究の背景として、抗がん薬はハイリスク薬であるため、安全に投与するには投与量、投与間隔、投与経路、投与時間を遵守し、臨床検査値が投与基準内であることを確認する必要があります。ガイドラインや書籍などの情報の充実に加えて、電子カルテではレジメンオーダシステムが利用できるようになり、安全な環境が整備されつつありますが、現時点では十分といえず、薬剤師の効果的な関わりが求められています。

そこで、抗がん薬治療の安全性向上に有用な知見を得ること目的に薬剤師の外来がん化学療法への介入事例を調査しました。調査対象は JCHO 九州山口地区の 10 施設の病院で、2022 年 7 月から 2022 年 12 月までを調査期間としました。

調査の結果、206 件の事例が報告され、外来がん化学療法の 1.4% に薬剤師が介入を実施していることが明らかとなりました。

B 型肝炎再活性化(48)	悪心・嘔吐(22)	過量投与(16)
ネフローゼ症候群(13)	処方もれ(12)	皮膚障害(8)
好中球減少(7)	薬剤選択(6)	相互作用(6)
高血圧, 低マグネシウム血症, 手足症候群, 過少投与(各 5)		下痢(4)
末梢神経障害, 甲状腺機能異常症, 傾眠, がん性疼痛(各 3)		
血小板減少, 口内炎, 用法間違い, 間質性肺炎, 倦怠感(各 2)		
以下各 1 件		
アルコール過敏症, アレルギー, 眼圧上昇, 投与禁忌, 血管痛, 処方日数超過, 心毒性, 爪囲炎, 脱毛, 低カリウム血症, 発熱性好中球減少症, ビリルビン上昇, 貧血, 腹水貯留, 浮腫, 創傷治癒遅延, 副腎皮質機能低下症, 悪液質, 顎骨壊死, 血栓, 肝障害, ビタミン B12 欠乏症		



上記の通り、関連する有害事象は多様であり、そのうち 39 件（19%）の転帰が改善していました。また、がん薬物療法の専門・認定資格を有する薬剤師の介入が 181 件（88%）であり、高い専門性を有する薬剤師がその職能を発揮していることを確認できました。

この調査結果を 2023 年 11 月に仙台で開催された医療薬学会年会で報告しました。今後は得られた知見を活用し、がん薬物療法における業務の質向上を推進していく予定です。



## 【肺非結核性抗酸菌感染症（肺MA C症を中心に）up-to date】

11月15日（水） 第75回 呼吸器・感染症勉強会を開催しました。  
毎月1回、5階病棟看護師が中心となり、院内外の医療従事者を対象に  
オープンセミナーを行っています。

今回は、感染管理対策委員会（ICT）・呼吸器感染症内科部長 北里 裕彦 医師  
から「肺非結核性抗酸菌感染症（肺MA C症を中心に）up-to date」の講話が  
ありました。

最近増加している肺MA C症の概説や治療法、新規吸入薬「アリケイス」と  
そのクリニカルパスについて話し、肺MA C症の最新の知見について 参加者  
への理解も深まったことと思います。（北里 医師）

今後も定期的には開催する予定です。次回予定は当院HP や SNS で発信して  
おります。



## 4月よりHPが新しくなります！

2024年4月よりHPが見やすく生まれ変わります！  
また現在、当院への紹介状はPDFに加えてExcelでの入力  
が可能になりました。

HP トップページ上部 「医療従事者の皆様へ」 から様式  
ダウンロード可能です。ぜひご活用ください。



## 【津田 英照 先生が園遊会に招待されました！】

園遊会は、天皇陛下が催される野外社交会で、春と秋の2回開催されます。国の運営に尽力されている方および、学術や芸術、文化、スポーツ、産業、社会事業に功績がある方が招待されます。

晴天の2023年11月2日（木）、赤坂御苑（東京）で催された秋の園遊会には、招待者総数は652名とその配偶者が招待され、福岡県からは3名、服部 県知事、井上 春日市長、津田 先生（旧社会保険久留米第一病院 院長）が招待されました。

津田 先生は、現在の独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）久留米総合病院の前身である社会保険久留米第一病院 院長時代の業績が評価され、2014年には叙勲、2023年秋の園遊会に招待されました。

11月27日（月）、津田 先生が、秋の園遊会の様子をドキュメンタリー形式で報告されました。

津田先生が評価された業績として、全国でいち早く女性外来「なでしこ」を立ち上げたこと、独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構（RF0）を改組し、独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO＝ジェイコー）に移行したいきさつ、東日本大震災の時、九州から被災地への支援物資供給基地を久留米市に設置したことなどが推察して挙げられ、その経緯を写真とともに振り返られました。

最後に「今回の秋の園遊会へのご招待は、職員と一生懸命働いてきた結果ですので、皆さんに深く感謝します。」と締めくくられました。

田中 眞紀 院長より御礼の言葉、職員から拍手とともに胡蝶蘭や花束が贈られました。



2023年11月26日(日)久留米シティプラザで、小学生と中学生を対象にした、子ども医学部という体験・まなび型イベント『Dr. ブンブン』が開催されました。

毎年、久留米市内の医療機関(※JCHO久留米総合病院も含む)の医師や看護師などが参加し、子ども達に医療の仕事について講義(レクチャー)しています。

グランドホールでは、産婦人科(元副院長)畑瀬 哲郎 医師や三嶋 すみれ 医師などが、現在、赤ちゃんがお腹にいる妊婦さんのお腹を子どもたちと一緒にエコー(超音波)で検査をして、赤ちゃんの鼓動やその映像をスクリーンでリアルタイムに視聴しました。

外科の授業では、統括診療部長で外科部長の亀井 英樹 医師が、なぜ病気やケガの治療で手術が必要なのかを説明した後で、腹腔鏡で行う外科手術を模した体験をしました。

このイベントを通して子ども達に、医療従事者が一番伝えたい”命の大切さ”理解して貰えたと感じています。



産婦人科(元副院長)  
畑瀬 医師



産婦人科 三嶋 医師



外科 統括診療部長・外科部長  
亀井 医師



# 外来診療のご案内

【内科】 【受付時間】 午前8:30~11:30 午後1:00~3:00 令和5年11月1日改定

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
呼吸器・感染症 内科	北里 裕彦 今岡 治樹 <small>(呼吸器喘息・COPD外来)</small>	今岡 治樹 <small>(禁煙外来のみ) (予約制)</small>	今岡 治樹		島松 文恵	北里 裕彦 <small>(禁煙外来のみ) (予約制)</small>	北里 裕彦 久留米大学医師	北里 裕彦 <small>(専門外来のみ) (予約制)</small>	北里 裕彦 最所 知佳	
腎臓 内科			玻座真 琢磨 南 浩	玻座真 琢磨 <small>(再診のみ)</small>			南 浩 <small>(再診予約のみ)</small>			
内分泌・代謝 ・糖尿病内科 (甲状腺)	原田 奈佳	吉信 聡子 <small>(再診のみ)</small>	吉信 聡子 原田 奈佳 <small>(再診のみ)</small>			吉信 聡子 <small>(再診のみ)</small> 副島 恵理 <small>(再診のみ)</small>	原田 奈佳 副島 恵理		光井 暁子 吉信 聡子	原田 奈佳 <small>(再診のみ)</small>
消化器 内科	松隈 則人 菅原 脩平		増田 裕 菅原 脩平		松隈 則人 佐々木 望		増田 裕 林 めぐみ		林 大樹 林 めぐみ	
循環器 内科	竹下 奈穂 古川 愛夢美	吉村 彩子	阪上 暁子	間部 早央里	平井 祐治 吉村 彩子	平井 祐治	間部 早央里 古川 愛夢美	間部 早央里 古川 愛夢美 <small>間部 早央里 古川 愛夢美 ヘルスメーカー外来 (13:30~予約制)</small>	吉村 彩子 間部 早央里	平井 祐治 古川 愛夢美

【外科】 【受付時間】 午前8:30~11:00

一般 消化器外科	亀井 英樹 <small>(初診のみ)</small>		亀井 英樹 白水 和雄 佐々木 亨	※火曜は新患の 予約は受けつけ ておりません。 <small>(再診のみ)</small>	白水 和雄		亀井 英樹 <small>(初診のみ)</small> 藤崎 正寛		亀井 英樹 藤崎 正寛
乳腺外科	※乳腺外科受診の方は、新患・再診ともに予約をお願い致します。				田中 眞紀 <small>(初診のみ)</small> 山口 美樹 朔 周子				田中 眞紀 <small>(再診予約のみ)</small> 山口 美樹 朔 周子
化学療法室	藤崎 正寛		三輪 啓介 山口 美樹 朔 周子		藤崎 正寛 佐々木 亨		横山 吾郎 山口 美樹		三輪 啓介

【形成外科】 【受付時間】 午前8:30~11:00 ※形成外科の水曜午後は、第4水曜のみとなっております。

		初診の予約は 10:30以降に!	井上 要二郎	矢永 博子	第4水曜のみの外来 矢永 博子(12:30~)
--	--	---------------------	--------	-------	----------------------------

【整形外科】 【受付時間】 午前8:30~11:00 ※野口幸志:足の外科・足のスポーツ外来 ※副島崇:ひざ・スポーツ専門

安藤 則行 野口 幸志 <small>(予約制)</small>			野口 幸志 <small>(予約制)</small> 田中 康嗣 <small>(予約制)</small>	野口 幸志 <small>(予約制)</small>	安藤 則行 副島 崇 <small>(予約制)</small>		安藤 則行 <small>(再診のみ)</small>	樋口 富士男 <small>(毎月第1金曜日) (予約制14:00~)</small>
--	--	--	--	-------------------------------	---------------------------------------	--	--------------------------------	--

【産婦人科】 【受付時間】 午前8:30~11:00 ※火曜受付時間は10:30迄

畑瀬 哲郎 <small>(再診予約のみ)</small> 牛嶋 公生 三嶋 すみれ	園田 豪之介 三嶋 すみれ 池田 裕一郎		園田 豪之介 三嶋 すみれ 池田 裕一郎		牛嶋 公生 園田 豪之介 池田 裕一郎
---	----------------------------	--	----------------------------	--	---------------------------

※現在、分娩の取り扱いを休止しております。 ※産婦人科受診の方は、新患・再診ともに予約をお願い致します。

【泌尿器科】 【受付時間】 午前8:30~11:00

平野 泰嗣	平野 泰嗣		平野 泰嗣 <small>(予約制)</small>	(受付10:30まで)	平野 泰嗣		平野 泰嗣 植田 裕明	(受付10:30まで)
-------	-------	--	-------------------------------	-------------	-------	--	----------------	-------------

【麻酔科/ペインクリニック内科】 【受付時間】 午前8:30~11:00 ※予約制 (月・水・金)午前のみ 担当医:杉山 和英

【眼科】 【受付時間】 午後1:00~3:00 (月・金)午後のみ 担当医:久留米大学医師

【皮膚科】 【受付時間】 午後1:00~3:00 (火)午後のみ 担当医:久留米大学医師

【放射線科(画像診断)】

河野 れい	寺崎 洋	河野 れい	寺崎 洋	寺崎 洋	寺崎 洋	河野 れい	河野 れい	河野 れい	寺崎 洋
-------	------	-------	------	------	------	-------	-------	-------	------

※他院からの紹介・検査依頼に基づいて画像診断を行いますので、患者さまからの直接のお申込はできません。

【放射線科(放射線治療)】 ※予約制 毎週月曜日(午前) 担当医:久留米大学医師

【総合診療科】 【受付時間】 午前8:30~11:30 午後1:00~5:00 ※午後は再診の方は受けつけておりません。

菅原 脩平	平井 祐治 吉村 彩子 古川 愛夢美	南 浩	安徳 真利子 玻座真 琢磨	消化器内科 内分泌内科	今岡 治樹	住田 咲子 北里 裕彦	住田 咲子 北里 裕彦	最所 知佳 北里 裕彦	北里 裕彦 菅原 脩平 林 大樹
-------	--------------------------	-----	------------------	----------------	-------	----------------	----------------	----------------	------------------------

【女性総合診療科(水曜午後)】 【受付時間】 午前8:30~午後3:00 【診療時間】 午後1:30~4:00

※各診療科すべて、初めて受診される方も再来の方も事前のご予約が必要となります。  
担当 佐々木 望(消化器内科)/亀尾 順子(内分泌内科)/上松 章子(内科)/守屋 普久子(泌尿器科)  
現在、乳腺外科の外来は、担当医師が女性のみとなっておりますので通常外来で対応しております。

※泌尿器科 第1水曜日は完全予約制ですので  
受診希望の方は事前のご予約が必要となります。

【救急科】 月曜、火曜、水曜、金曜(木曜以外):当院担当医師 毎週木曜担当医:宇津 秀晃

【精神科(リエゾン)】 ※予約制 毎週木曜日(午後) 担当医:千葉 比呂美

【腎センター】 (シャントトラブルの紹介は、前もって地域連携室へご連絡ください)

	月	火	水	木	金	土
腎センター外科	枝國 節雄	枝國 節雄		枝國 節雄	枝國 節雄	
血液透析	●	●	●	●	●	●
CAPD	●			●		



JCHO 久留米総合病院 Japan Community Healthcare Organization: JCHO

〒830-0013 福岡県久留米市櫛原町 21 番地

TEL : 0942-33-1211 FAX : 0942-32-0113 URL : <https://kurume.jcho.go.jp/>

2024年1月発行 発行責任者: 院長 田中 眞紀 編集: 広報委員会